

2024年3月16日より2つの「自動運転」を開始します！

～香椎線 GOA2.5 自動運転開始、鹿児島本線 自動列車運転支援装置の実証運転開始～

JR九州では、少子高齢化や人口減少が進む中で交通ネットワークを長期的に維持していくため、安全性を維持・向上しながら業務運営の効率化を行っています。また、将来にわたる労働人口減少の中で必要な人材を確保するため、作業の自動化や機械化を推進しており、中期経営計画 2022-2024 の「経営基盤の強化-DX 推進」に掲げたオペレーション改革の一環として「鉄道車両の自動運転」に取り組んでまいりました。

この度、香椎線では GOA2.5 自動運転の開始に伴い出発式を実施します。鹿児島本線では 2023 年 3 月より「自動列車運転支援装置」の走行試験を実施しておりますが、営業列車で実証運転を開始します。

※ GOA : Grades of Automation

1. 香椎線 GOA2.5 自動運転（自動運転乗務員乗務）

〔開始日時〕 2024年3月16日（土）

〔対象区間・車両〕 香椎線（全線）・819系（DENCHA）

〔対象列車〕 香椎線の列車 173 本中 31 本で実施

〔出発式〕 2024年3月17日（日）11:00～ 香椎駅にて

2. 鹿児島本線 自動列車運転支援装置 実証運転（運転士乗務）

〔期間〕 2024年3月16日（土）～導入までの間

〔対象区間・車両〕 鹿児島本線 折尾～二日市間・819系（DENCHA）

装置対応区間は門司港～荒尾間【151.6km】（※）

（※）同一路線における GOA2.0 区間長としては日本最長（昨年から更新）

〔対象列車〕・香椎 8:13 発－博多 8:27 着

・博多 9:37 発－折尾 10:50 着

・折尾 10:58 発－二日市 12:33 着

・二日市 12:56 発－折尾 14:35 着

・折尾 14:57 発－博多 16:09 着

〔今後の目標〕 2025 年度末までに導入を目指す。

（自動列車運転支援装置については別紙 1 参照）



※乗務講習中の自動運転乗務員



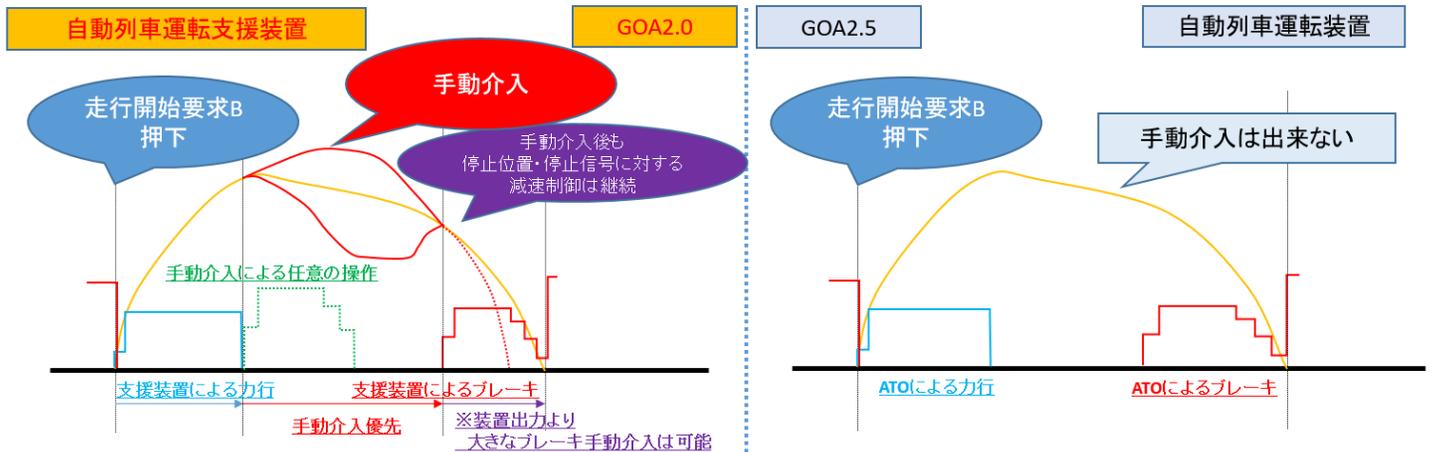
3. 関連「News Release」

- ・ 2019年12月20日 「自動列車運転装置の走行試験を実施します」
- ・ 2020年12月22日 「自動列車運転装置の実証運転を実施します」
- ・ 2022年 2月22日 「自動列車運転装置の実証運転区間・対象列車を拡大します」
- ・ 2023年 3月29日 「鹿児島本線で「自動列車運転支援装置」の走行試験を実施します」
- ・ 2023年11月30日 「GOA2.5自動運転を2024年3月より開始します」

自動列車運転支援装置の特徴

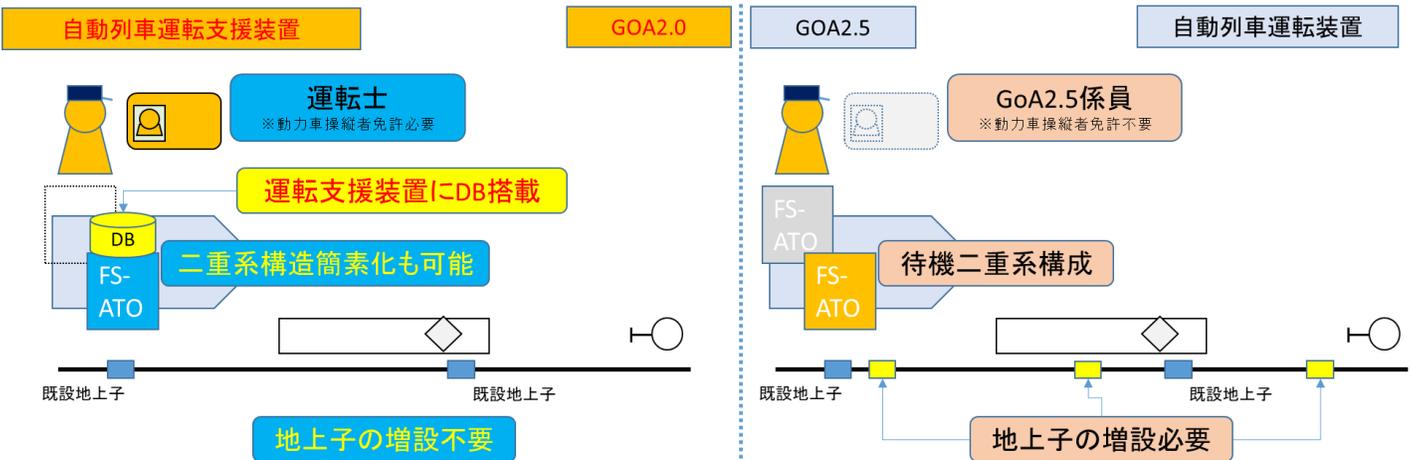
1. 運転士による手動介入可能

駅出発～駅停止まで列車の加減速制御を自動化しながらも、運転士による臨機応変な手動介入（列車遅延時の回復運転や特定の箇所でのみの注意運転）が可能です。なお、駅停止制御や制限速度、停止信号に対する減速は手動介入後も装置により行われ、より一層の安全性向上を図ります。



2. 地上設備増設を不要、車上設備の簡素化

既設 GOA2.5 自動運転を目指した自動列車運転装置をベースとしながら、車上の本装置にデータベースを保有することで、地上設備増設を原則不要とすると共に車上設備簡素化を目指します。



3. 理想的な運転の実現

運転士の走行実績（経済性、快適性、定時性を兼ね備えた走行ログ）を基に、本装置にDB（データベース）として保有することで、理想的な運転を実現します。

